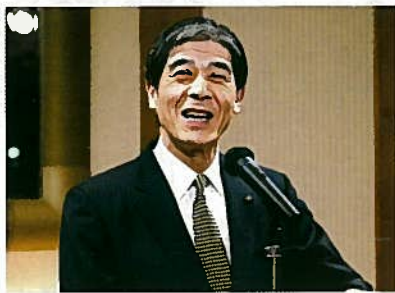


上田高等学校同窓会 中南信支部会報

発行
上田高等学校同窓会
中南信支部事務局
題字
松岡翠鳳(仁太郎)氏
南安豊在住(39期)
全日展書法会副会長

会員の皆様へ 支部長 菅谷昭(60期)



想像しています。各競技にまつわる様々なドラマやエピソードが数多くありましたが、やはり今回は女性陣の予想以上の活躍に心からの拍手を送りたいと思います。近い将来、サッカーばかりでなく、あまたの「大和撫子」たちが、世界の強豪選手と互角に戦う日が訪れることを期待してやみません。

中南信支部同窓会会員の皆様、その後もお変わりなくお過ごしのことと存じます。それぞれの社会的、また職業的環境の場において、自らの意志の下、充実した日々を送っていらっしゃるのと拝察致しております。

当支部同窓会の活動につきまして、日頃から何かとお心遣いを賜っておりますが、お陰様で特段支障もなく順調に進んでおりますのでご放念下さい。

さてこの夏は、ロンドンオリンピックに一喜一憂されたのではないのでしょうか。時差の関係で寝不足の毎日であったかと

「米国ではハーバード大学から200人も五輪代表が出ているのに、日本の東大は五輪メダリストどころかスポーツのトップ選手さえ少ない。人間として何も変わらないのに、発想力の違いだけとしたら、こんな残念なことはない。」

「日本のようにスポーツに精を出していれば勉強は二の次に良いという考えはないのだ。ゆえに欧米は、もし五輪選手になっても、世界を相手に闘いぬいたのだから、その培った経験を生かし、医師や弁護士くらいにはなれるかも」と自分への新たな期待を膨らませてゆくと思われる。それに対して日本人は難関大学に入った時点で五輪選手になつたところで満足してしまい、勝手に自分の伸びを止めてしまふ：とすれば、何とももったいないではないか。」

確かにそういう面もあるかなあと一人頷いています。皆様はいかがお考えですか。私は以前から、人間には多様な能力が潜んでいるので、個人の生きる過程において、様々な能力を花開かせる努力をすべきではないかと述べてきています。

翻つて、「文武両道」を旨とする我が愛する上田高等学校の在校生やOB諸氏は、きりなく自らの「潜在能力」を出し惜しみしていきなんでしょうか。もしそうだとすれば、某作家のごとく、「誠にもったいない」話です。母校の大いなる飛躍を祈るばかりです。

～ 第19回支部総会のご案内 ～

日時: 11月17日(土)

- 14:30 開場
- 15:00～15:45 第一部 : 総会
- 16:00～16:45 第二部 : 記念講演
- 17:00～18:45 第三部 : 懇親会

会場: 松本ホテル花月

松本市大手4-8-9 電話 0263-32-0114

会費: ¥7,000 (学生の方は¥3,000)

第一部のみ参加される方で、'12年度支部年会費1,000円を払われた方は無料です。返信葉書で出欠をお知らせください。



記念講演 「フロンティアへの挑戦 ～ はやぶさイオンエンジン開発 ～」

日本電気株式会社 宇宙事業開発戦略室 シニアマネージャ
堀内 康男 氏 (81期)



はやぶさの開発～運用のメーカー側エンジン責任者。映画「はやぶさ遙かなる帰還」で吉岡秀隆さんが演じた森内安夫さんのモデル。

略歴

- ・1964年生まれ。
- ・1983年上田高校卒業。
- ・1988年京都大学工学部卒業、1990年東京大学大学院修了。
- ・同年NEC入社、人工衛星搭載推進システムの開発に従事。
- ・2003年より現職に異動、小型衛星・イオンエンジンの海外事業推進を担当。
- ・現在、同社宇宙事業開発戦略室シニアマネージャ。

リタイアした「アラウンド・古希」の叫び

久保田 信二 (61期)



《序》昨年8月、44年の会社勤めを卒業し、リタイア生活に入ってから1年が経過した。結婚して40年、サンデー毎日生活はわが人生初の体験。ささやかな失敗と実感の幾例かを紹介し、これからリタイアする皆さんに参考になればと紹介する次第です。

《目標の設定》平均余命(私の年代では83歳)は生きること前提として、「アラコキ」に相応しいこれからの価値基準が必要と目標と基準を設けた。

① 人生を徹底して楽しむ
② 今まででしなくても出来なかった事をやる
③ 無理をしない

《最初のつまずき》「亭主元気で留守がいい」という掟は承知していたが、どうやら40年連れ添った妻の神聖な領域を侵してしまっただよう。具体的に言えば、今まで昼は居なかった男が朝から家にいて、当然顔で朝食を待っている。しかも毎日。それはまだいい。あれだけ注意したのにテレビを観ながら晩酌をして、「アツ」溢した。そこでこんな会話が始まる。

「あれだけ言ったのに...」だいたい貴方は私の言うことを真面目に聞いていないんだから...」結婚してからあの時も...と話はほとんどん遡っていく。妻が言っていることはだいたい正しいが、こっちは溢したくて溢しているわけではない。しかし抗弁してはならない。一度抗弁して思わぬ深みにはまったことがある。男は気が弱くせに自分の行動を率直に謝れない複雑な性格がある。こんな状況の時は「寝たふり」、これが一番有効。最近はずが分かってきたが、「高齢夫婦の正しい会話教室講座」をNHKは開設すべきだ。

世の平和の為と確信する。子供のこと、近所のこと、家庭のこと庭木・草花、全て妻の方が歴史と経緯を熟知している。社会を本当に支えているのは女性かもしれない。少なくとも俺ではない。俺の知ってる男達でもない。

《趣味の実行》妻との一緒の時間を減らすためにも習い事を試みた。尺八を候補にあげたら尺八をする友人に「首ふり十年」と言われ首を振っている内に死んじゃうと思いついた。あちこち体験したが、「全く新しい事」は始めようとすると結構頭を下げる回数が多い。

多岐から覚悟が必要である。できたら現役中から少しずつ準備するのがベターだ。最終的には現役中に少々経験したステンドグラス教室に通っている。自宅の窓を自作品で埋め教会風の雰囲気にしたいたいと思っている。そうすれば自分も懺悔する時便利である。なによりも手先の訓練が「ボケ」を防ぐと固く信じている。ゴルフは健康の名目で、近くのカントリークラブに通っている。いずれエージシユター(自分の年齢以下のスコア)を達成したいと思っている。今の実力では達成は90歳を超え、なんとか80歳達成を成し遂げたい。その時は皆さんを招待し盛大に祝いたい。健康は命より大事かもしれない。

《お金のこと》懇意にしている銀行(八十...)の担当者が「今までは体で稼いできたが、これからはお金の稼いでくれると心から思っている。お勧めの商品を買った。運用1年、結論を得た。理論は正しいが、今の日本の政治と経済の状況では、お金は十分働かないことを知った。ただ、老後の生活を楽しくするには、多少の自由になるお金は欠かせない。現役中に「そ



上高地開山祭 画 武村洋治(58期)

く」か、別の手を用いるか、術はあるが残念だが限られた紙面では詳細紹介は難しく、個人面談の事案となる。

《年金の事》問題はありますが、日本の年金制度は素晴らしいと実感した。2か月に一度間違いなく振り込まれる。問題は額であるが、要は年金額以下で生活をすればいいだけの話だ。ただし、男には男の付き合いが欠かせない。そこで「そくり」の話となり、詳細は前項事案となる。現役のみならず、年金だけはなにを差し置いてもお支払いください。

《町会の事》半年したら、家でブラブラしていることが知られ町会の役員にやむなくなった。今までの不義理がたたり、会う人が皆新しい、会社と異なり上下関係は一切なく、また多様な意見の横溢が結構新鮮で楽しいし、なによりも友達ができる。老後は気の置けない友達が多いたほうがいい。ちなみに400戸の住宅団地だが、同窓生が3人いた。さすが母校のポテンシャルは高いと妙に感心した。同窓生との付き合いは、遠慮がなく、先輩の言うことは絶対だが妙に楽しく、欠かせない。

た。医者からは老人は梯子に上ると言われ、妻からは、なんで注意しないで落ちるの...と言われたが答えようがなかった。一か月ゴルフは出来ず、家でブラブラしていたら、泣き面に蜂とは本当の事で、足長の集団攻撃に合い7か所刺され、また医者へ。幸い大事にいたらなかったが、こっちに悪気がなくても誤解されることがある事を知った。

教訓。何事も調子に乗らない、無理な事はしない。黒いものを身につけて蜂の巣に近寄らない事。

《まとめ》現在までの個人的な教訓のまとめです。ただし学術的根拠はありません。

一 戸籍上では戸主であっても家庭主は妻であることを肝に銘ずる事。

二 よって、家庭では新人であることを自覚し、何事も謙虚に臨むこと。

三 週に2〜3回は朝食を挟み、自ら外出すること。外出目的が習い事なら二重にベター。

四 危険な事、冒険的なことは思うのは自由だが決して実行しないこと。(人・物・金)

五 高い所は特に注意すること。上つても(100マイナスイオン)×2(元)以下が望ましい。

六 あわよくば稼げる、と思うだけはいい、でも決して実行しないこと。世の中甘くない。

七 会社と関係ない友人をつくる事。数ではなく質だ。面白い人がいい。

職場訪問

《トーマツグループ》の巻

今回は、公認会計士や税理士、コンサルタント等のプロフェッショナルを擁し、企業に会計監査や税務、コンサルティングサービスを提供している「トーマツグループ」(総人員約7500名)で活躍しているお二人に話をうかがいました。専門性の高い分野であることから、「トーマツ」の名前を初めて聞いた方もいるかもしれません。また監査を行う組織としての「トーマツ」をご存知の方はいるかもしれませんが、少し違う立場で業務を担当するお二人の紹介を通して、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

まずは、矢澤浩さん(79期)です。矢澤さんは、旧丸子町の出身です。長瀬小学校(現在の丸子北小学校)、丸子北中学校を経て上田高校に進みました。

中学ではサッカー部、高校では陸上部に所属し中長距離を専門としていました。当時、中長距離の部員も多く、高校駅伝の県大会では一位、二位を競っていたそうです。また県縦断駅伝にも大人に混じって参加していたそうです。

高校三年の遅い時期まで大会に出場していたことを心配されてか、一組担任の湯本先生から推薦を紹介され、中央大学へ、そして同大学院に進みました。専攻は管理会計でした。この学生時代に、洗剤や化粧品などを手掛

ける大手メーカーでアルバイトしたことが、現在の仕事につながっています。この会社の先進性に触れ、仕事や組織の仕組みづくりを手掛けてみたいと強く感じました。矢澤さんは、大学のゼミでソフトウェアの開発などを通じて、企業からプロジェクトを請け負うほどになりました。企業経営を支援する仕事ができればと考え、トーマツグループのコンサルティング会社に入社しました。



矢澤 浩 さん

矢澤さんは税理士の資格を持ち、企業の経営システム(経営や管理の仕組み)に関するコンサルティングを主な業務にしています。専門は企業グループ経営で、その筋では少々知られているそうです。東京を拠点に世界各地を飛び回っていましたが、お父様の

病気のため6年前に松本に異動しました。この時期に同窓会中南信支部との付き合いが始まりました。現在は有責任監査法人トーマツのトータルサービス部の所属となり、拠点は東京に戻りましたが、県内のお客様も引き続き担当しており、支部の幹事会にも顔を出されています。

お客様の企業に喜ばれることや、そこから新たな依頼を受けた時に、やりがいや仕事の醍醐味を感じるとおっしゃる矢澤さん、ご家庭では小学六年生の娘さんの優しいパパです。



古畑 智子 さん

続けては、古畑智子さん(92期)です。古畑さんは、旧和田村の出身です。小さい頃は、男の子と一緒に遊びまわり、生傷が絶えなかったそうですが、筆者が受

を選びました。クラスは、美術の萩原先生が担任の9組でした。「よくサボってお茶しました」と、本人はおっしゃっていましたが、ご愛敬というものでしょう。

《無理しないこと》例年はプロに頼んでいたわずかの庭木の手入れを「今年は俺がやる」と公言し、剪定用の三脚梯子を買った。初日に落下し腰を強打した。

上田高校でもバレーボール班に入りましたが、自宅と高校の距離の遠さが、古畑さんの大きな負担になってしまいました。和田村から上田市までのバスは、一〜二時間に一本。片道一時間半の道のりでした。ご両親の通勤の車で途中までは移動できましたが、やはりバレーと勉学の両立は難しいと感じ、勉学に集中する道

大学は、こちらも推薦で明治大学政治経済学部に進みました。当時は、就職氷河期と言われた時期でした。大学卒という肩書だけでは就職は難しいと考え、公認会計士の資格取得を目指しました。卒業後、長野に戻り、一年後に論文式試験に合格しました。

長野で求人あつた有責任監査法人トーマツに入社した古畑さんは、六年間ほど監査業務に従事しましたが、お客様企業と一線を画す監査とは異なる、お客様の立場に近いところで仕事のできる税務サービスに興味をもちました。時を同じくして、長野で税務サービス会社の立ち上げがあり、今所属している税理士法人トーマツに転籍しました。税金計算、申告書作成、税務コンサルティングといった業務で、県下全域の顧客企業を飛び回っています。お客様の役に立ったと感じられるときに充実感を得られるそうです。

プライベートでは、「健康第一」。ヨガ、ピラティス、筋トレ、整体と体の内側から鍛錬し、健康維持しています。

「快活」な印象で始まった古畑さんのインタビューでしたが、会話を通じて、「聡明」という言葉もびつたりくる方だなあと筆者は感じました。

最後にお二人からのメッセージです。「企業の経営に関してお悩みがあればお気軽に何でもご相談ください」。

会員短信

昨年の返信人ガキなごから



林庄平 (52期) 下諏訪町

後期高齢者に仲間入り。子供達が金婚のお祝いを贈ってくれた。パートナーと半世紀。お互いに感謝すべき事と認識を新たにしました。

清水強 (54期) 松本市

宇宙医学等の研究と介護系専門学校の校長職を続けながら日本の将来をあれこれ考えさせられる日々ですが、東北の大災害で更に思いは乱れます。昨年は二十年間暮らした福島の被災地の一部を巡り、まさに声もなしでした。

藤井恒男 (61期) 松本市

松本に引越して一年半が過ぎました。お祭りが盛んなことに気がつきました。ちよつと大変ですが。

丸山(伊藤)勝彦 (61期) 安曇野市

とうとう孫が十人目の大台になりました。破産しそうです(笑)。将来、我々の年金を支えてくれる孫達をしっかりとサポートしていきたいと考えています。

前澤隆男 (64期) 松本市

百名山を七割近く登り、神のなせる業と歓喜しながら西方浄土を実感させてもらえることがあります。

松尾恵子 (70期) 辰野町

まだまだ仕事は続けて頑張るつもりです！

山浦敏 (71期) 飯田市

相変わらず松本で単身赴任しています。三年半が過ぎました。

石川久雄 (76期) 松本市

昨年は、米がよく実りました。土をいじりながら、のんびり過ごしております。

清水賢一郎 (83期) 駒ヶ根市

昨年四月より、辰野中学校に赴任しました。昨年は一年生の担任、柔道部顧問をしています。同窓生の皆様の活躍に励まされ、日々精一杯生活しています。

中南信支部会員概況

本部登録の支部会員は552名

松本: 231

塩尻・木曾: 49

諏訪・岡谷・茅野: 106

飯田・伊那・駒ヶ根: 85

安曇野・東筑・南安・大町・北安: 81

毎年あて先不明返信があります。

住所変更や、職場・ご近所の同窓生でこの会報が届いていない方がいましたら、返信葉書で連絡ください。

平成 24 年度 高校 OB 対抗ゴルフ大会 参加報告

吉村 哲郎 (66期)

掲題のゴルフ大会が7月4日、豊科ccで開催された。今年の中南信支部代表・上田Bチームは武村洋治(58期)、高藤勝雄(58期)、大口静雄(59期)の各氏と小生である。何れもゴルフ中心上田会(参加者募集中!)の成績および支部活動への貢献度を参考に選び抜かれた精老達である。

当日は県内18校26チームが参加、新ペリア方式で上位3名の成績が採用され覇を競った。誰が落ちたかは書かぬが花。



我々上田Bチームは全体で12位、シニアの部で5位と昨年の準優勝には及ばなかった。しかし出場予定の某先輩が足を挫き急遽メンバーが入れ代った即席チームとしてはよく健闘したという所だろう。某先輩曰く「60cmのバターと梯子は要注意！」名言である。

なお、全員66期丸子出身者で固めた上田Aチームは19位・8位の成績で、2年連続先輩組が勝利した。ところがである！馬場敏博君が衆人環視の最終18番でホールインワンをやったのけた。上高出身者は思わぬ時に何かをやらかす…。帰途の三才山トンネルを彼が無事に抜けたかは未だ確認していない。

職域幹事交代のご案内

県職 坂田浩一さん(77期:松本建設事務所維持管理課)の異動に伴い、宮下覚さん(85期:松本建設事務所維持管理課)が後任となります。

坂田さん、お疲れさまでした。そして宮下さん、宜しく願い致します。

同窓生Jリーガーを応援しよう！

松本山雅FC

19番 塩沢勝吾選手(99期)



競技歴
真田町サッカー少年団
真田中学校
上田高校
山形大学
モンテディオ山形
水戸ホーリーホック
佐川印刷SC
松本山雅FC

2009年にはJFL得点王/ベストイレブン

今後の試合日程 (9月28日時点情報)

Jリーグ ディビジョン2

10/14(日) 第38節

徳島ヴォルティス 16:00 アルウィン

10/21(日) 第39節

水戸ホーリーホック 16:00 アルウィン

10/28(日) 第40節

栃木 SC 19:00 栃木

11/4(日) 第41節

ジェフユナイテッド千葉 16:00 千葉

11/11(日) 第42節

大分トリニータ 13:00 アルウィン

塩沢選手、がんばれ！！